

平成30年度 マザーレイク滋賀応援寄附 活用事業のご報告



みなさまからいただきましたご寄附は、以下の事業に活用させていただきました。

琵琶湖

外来生物防除対策事業

寄附金活用額 3,348千円

- 琵琶湖および県内河川で異常に繁殖している外来水生植物を県民、地元企業、大学生、ボランティア団体等との協働により駆除しました。
- 瀬田川において、地域団体主催の駆除作業と連携して効率的かつ効果的な駆除の実演を行いました。



外来水生植物オオバナミズキンバイ



駆除作業

県民参加型交流会開催事業

寄附金活用額 1,276千円

- 琵琶湖博物館の第1期・第2期リニューアルの情報や魅力を発信する機会として県民参加型交流会や県内や琵琶湖との関わりの深い琵琶湖淀川流域である京都府・大阪府の中高生、一般バンドを対象としたアトリウムコンサートを実施しました。



アトリウムコンサートの様子

「びわ湖の日」活動推進

寄附金活用額 948千円

- 琵琶湖の価値や「びわ湖の日」の意義を考えるための「びわ湖の日」啓発ポスター、学習ノート、クリアファイルを作成しました。
- ポスターは主に県内の学校や図書館等において掲示し、学習ノート等は、各種イベント時に配布して、県内外の方に「びわ湖の日」の周知を行いました。



H30年度「びわ湖の日」啓発ポスターデザイン



学習ノート



クリアファイル

固有種ゲンゴロウブナで学ぶ琵琶湖再生事業

寄附金活用額 2,530千円

- 植物プランクトン食であるゲンゴロウブナ 131万尾を放流し、資源を回復させることで、安定した生態系の確保に取り組みました。
- 小学生を対象に琵琶湖の漁業や、生態系について学習会を実施し、ゲンゴロウブナの放流体験を提供することで、琵琶湖の環境学習に貢献しました。



学習会の様子

びわ湖フローティングスクール周知啓発事業

寄附金活用額 93千円

- 平成30年度に就航した新学習船「うみのこ」の門出を祝い、安全な航海を祈念し、出航式を実施しました。
- 知事や教育長、各関係者が出席し、乗船児童たちとセレモニーを行いました。



平成30年度 出航式

学習船「うみのこ」親子体験航海

寄附金活用額 492千円

- 県内および県外小学3～5年生の親子を対象とした1日航海（親子59組118名）を実施しました。
- 湖魚のブランドである琵琶湖八珍についての講義や試食、プランクトンや魚・貝の観察といったびわ湖学習体験を行いました。



平成30年度親子体験航海

歴史的文化的資産

安土城考古博物館所蔵品再生展示事業

寄附金活用額 4,600千円

- 安土城考古博物館で所蔵されている貴重な文化財のうち、損傷が著しい作品（黒田長山古墳出土の短甲）を修理再生しました。
- 修理した短甲を、修理再生過程を説明したパネルとともに展示、あわせてパンフレットの配布や講演会等を開催し、修理の成果や文化財の魅力について発信しました。



修理後の文化財（短甲）



安土城考古博物館での展示風景